



電子聴診器 モデル：JPES-01



現代医療が急激な進化を遂げる中、医療診療のひとつである「訪問医療」が注目を集めています。高齢化や過疎化が進む遠隔地などで、通院が困難な患者のご自宅に看護師が訪問し、医師の診療指示によって行われる「遠隔医療支援」を電子聴診器がサポートします。

遠隔医療支援聴診器：在宅・訪問医療、看護向け=電子聴診器 JPES-01

高感度センサー搭載、聴診データを視覚化。

【電子聴診器が遠隔医療支援に貢献】

医療現場で注目される在宅・訪問医療が進む中、看護師、介護士によるバイタルチェックを行い異常があった場合には、遠隔にいる医師にデジタル通信とPC、タブレット、スマートフォンの画像データをリアルタイムに送信し診断を仰ぐことが可能となります。



【聴診音の録音・再生・送信が可能】

内蔵の無線システム（2.4GHz ISM）により端末に自動転送した聴診音は、イヤホンなど聴音デバイスの選択によって録音・再生することが可能。またPC、タブレット、スマートフォンなどにデータ通信し、解析への転用が可能になります。

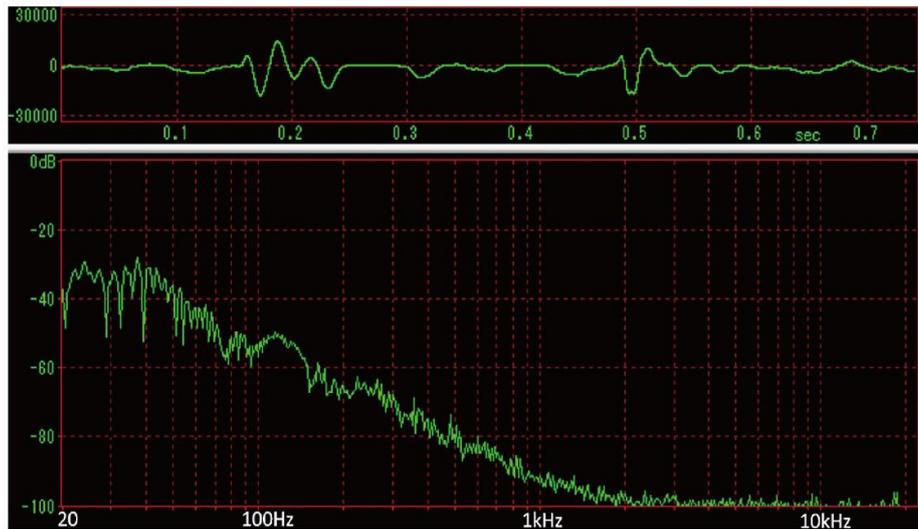
【高感度センサーを搭載】

圧電フィルムを使用した超高感度センサーと電氣的な増幅により、高音質な聴き取りを可能にしました。また聴音時には、市販のノイズキャンセリングヘッドフォンを使用することにより、あらゆる場所での聴診を可能にします。



【微細な生体音をキャッチ】

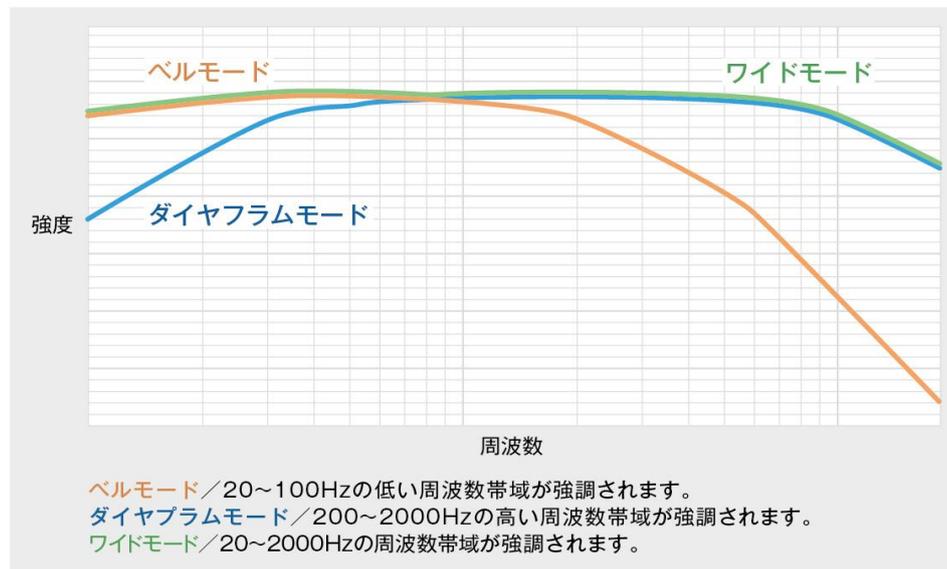
音響インピーダンスが水（生体）に近いという圧電フィルムの特性を活かし、体内で発生する微細な振動までキャッチできる優れた音質設計により、ピュアにより正確な生体音の聴診を可能にしました。



聴診器収録イメージ（上:収録音データ、下:周波数解析結果）

【3種類の周波数モードを搭載】

本品は、適切な周波数モードを選択し、心音、肺音、動脈音、腸音など体内音を増幅し診断ができます。フィジカルアセスメントの聴診の診断においても誰にでも使用することができます。



周波数モード切替イメージ

【ユーザビリティを追求】

医療従事者が使いやすいと感じるデザインで、新生児、小児、大人の患者にも使用できるように設計されています。操作性、イヤフォン装着性、堅牢性さらに可搬性を考慮した小型・軽量で持ち運びにストラップかけを取り付けました。

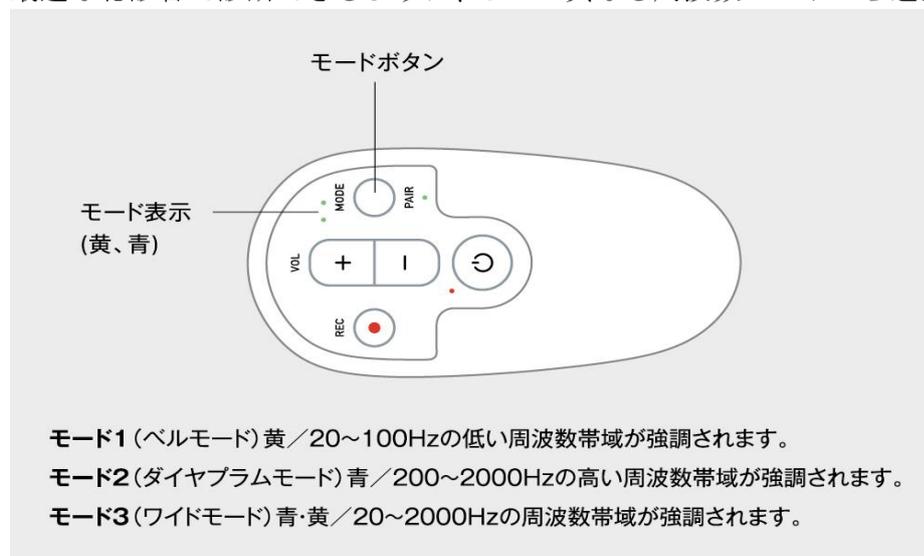
【ユーザーフレンドリー】

iOS /Android/ Windows に対する専用アプリがあります。

また原語は日本語/英語を基本とし中国語や他言語も対応する計画です。

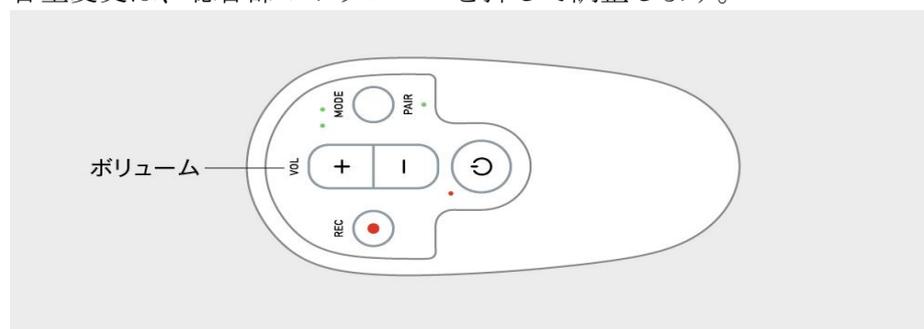
周波数モードの選択

最適な聴診音で診断できるように、3つの異なる周波数モードから選択することができます。



音量レベルの調整

音量変更は、聴音部のボリュームを押して調整します。



製品仕様

電源	リチウムイオン電池内蔵	対応プロファイル	SPP
音声出力	ステレオミニジャック	外形寸法	115×52×37mm
無線通信方式	2.4HGz ISM (ハイレゾオーディオ転送)	重量	100g

認証番号:229AFBZX00007000



安全にお使い
いただく為に

- ご使用前に取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●表示された正しい電源・電圧でお使いください。
- ITネットワークに接続する前に、接続する機器の取扱説明書を必ずお読みください。また、IEC60950-1に適合した機器をご使用ください。



製品に関するお問い合わせ

株式会社 BioCMOS

担当：本間康之 homma@biocmos.com

東京事務所：東京都武蔵村山市伊奈平 2-57-2

TEL: 042-520-3770 FAX: 042-520-3778

ウェブサイト <https://www.biocmos.com>